

# 山口大学八月生活報告書

三年一班 黄泓鈞

八月の生活報告書と言っても、十二日に帰ったから、半分以上の時間は台湾にいる。少し違和感が感じる自分が面倒くさい人と思う。けどこの僅かな十二日は私にとって大切な日々でもあった。

その十二日の内、半分以上の時間は東京で生活した。だが今回は一人なので、正直不安だった。加えてネットサービスもなかったから。一時やめようかなと思った。しかし行かずに帰ると絶対後悔すると思いつつ、無事に帰ってきた。ネットがなくても、素晴らしい旅だと自分はそう思う。

空港に行く前に山口で過ごした。ただの三日なのに、一生忘れないくらい大切な時間を過ごした。世話になった先輩達と過ごして、一緒にバイトしてる友達を見送り、最後にバイト先のみんなど別れた。楽しくて悲しかった。涙を泣かずにさよならと言いたいが、どうしても涙が止まらない。でもよかった、泣いたということはこの日々は私にとって大事の証拠。本当にこの一年は最高だ。



2018/9/5